

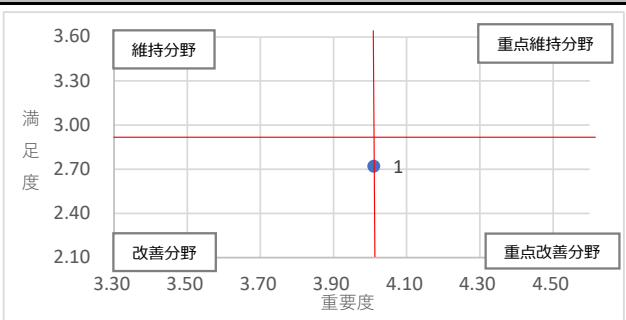
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	地域公共交通推進事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民、事業者	目的	路線バス・コミュニティバス等の再編・見直しや新たな交通手段の検討など、日常生活の移動を確保する。				
事業概要	二宮町地域公共交通活性化協議会を中心に交通施策の検討、検証、事業展開を協議し、公共交通の確保・改善に取り組む。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	地域公共交通推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	105	90				
	概算人件費	2,857	1,593				
	トータルコスト	2,962	1,683	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.65 人		2,857 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,857 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	コミュニティバスの乗車人員【交通計画】(人/日)	計画値	84.1	92.6	101.1	109.6	118.1	126.6
		実績値		97.0				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域公共交通の確保	4.01	2.72
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・関係者との調整や、町民アンケート、地域公共交通活性化協議会での協議を経て、新たに「二宮町地域公共交通計画」を策定した。 ・地域の通いの場に出向き、住民に対し地域公共交通について説明するとともに、コミバスの利用促進のための案内を実施した。（全５回実施）
	課題	・計画上で指定した交通不便地域への新たな交通施策について、地域と協議しながら検討する必要がある。 ・庁舎の移転に向けて、コミバスルートの再編等を検討するとともに、路線バスの運行形態について事業者と協議を進める必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充

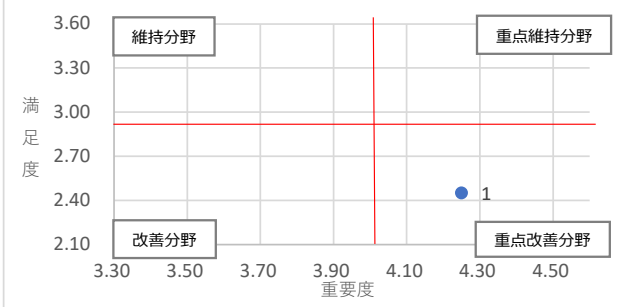
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	まちづくり総合調整事業（総合計画策定推進事業）				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	全体	目的	総合計画の効果的・効率的な推進を図るため、行政評価に基づく進行管理を実施する。				
事業概要	前期基本計画の推進及び、行政評価による進行管理を行う。また、次期総合計画の策定に向け準備を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	まちづくり総合調整事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	0	0				
	概算人件費	1,444	1,230				
	トータルコスト	1,444	1,230	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.30 人		1,444 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,444 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	事業の統廃合数【行革】（事業）	計画値	3	2	4	6	8	10
		実績値		1				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・第６次二宮町総合計画のもとでは初めてとなる実施計画を策定し、令和９年度までの各事業の方向性を示した。 ・新しい計画の開始に伴い、行政評価における評価体系や評価様式等の見直しを実施した。
	課題	・行政評価の結果等を基に、事業の見直しに繋げることを検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	まちづくり総合調整事業（総合戦略推進事業）				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	全体	目的	国・県の総合戦略を勘案し策定した「二宮町人口ビジョン」並びに「二宮町総合戦略」に基づき、効率的・効果的な行政運営を図る。				
事業概要	二宮町総合戦略の推進及び、内部・外部評価による進行管理を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	まちづくり総合調整事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	106	174				
	概算人件費	1,444	1,230				
	トータルコスト	1,550	1,404	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.30 人		1,444 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,444 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	「住み続けたいと思う町民の割合」【戦略】（％）	計画値	87.2	87.4	87.6	87.8	88
		実績値	80.1				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・第２期二宮町総合戦略の実績に対し内部及び外部評価を実施した。 ・新しい計画の開始に伴い、総合戦略実績における評価体系や評価様式等の見直しを実施した。
	課題	・国庫補助金等における活用の検討状況や実績に対する評価結果を基に、必要に応じて計画の改定等を検討する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

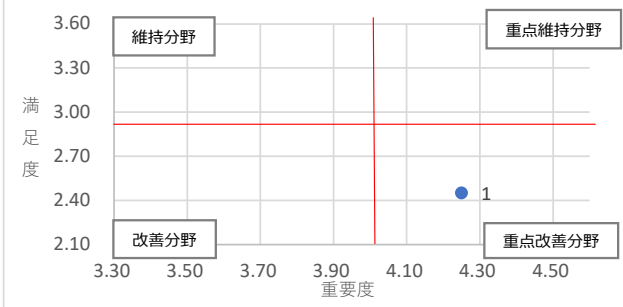
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	行政改革推進事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●	●	
事業対象	町民、職員	目的	行政改革を進めるとともに、民の力を活用した行政施策の推進、経営感覚豊かな行政運営の推進により、効率的で質の高い行財政運営を行う。				
事業概要	第 6 次二宮町行政改革大綱・推進計画の推進及び、進行管理を行う。また、次期行政改革大綱・推進計画の策定に向け準備を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	まちづくり総合調整事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	0	0				
	概算人件費	798	1,030				
	トータルコスト	798	1,030	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.16 人		798 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			798 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	公共施設の総延床面積(㎡) 【戦略】(施設)	計画値	68,729.08	68,589.08	68,449.08	68,309.08	68,169.08	68,029.84
		実績値		68,607.07				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・新たな行政改革大綱を基に10の個別項目を設定し、令和９年度までの具体的な取り組み事項と目標を定めた第６次二宮町行政改革推進計画を策定した。
	課題	・今後、推進計画に定めた目標を達成するため、各課と連携しながら業務の効率化等の検討を進める必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	広域行政推進事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	県・近隣自治体	目的	広域連携のスケールメリットを活用した、行政課題の解決や業務の効率化などを図る。				
事業概要	広域的な行政施策や取組みを必要とする行政課題等の情報交換及び連絡調整を図り、広域行政を推進する。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	広域行政推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	13	12				
	概算人件費	644	717				
	トータルコスト	657	729	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.16 人		644 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			644 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	新たに広域で連携する事業数	計画値	検討	検討	検討	検討	検討
		実績値	0				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広域連携の推進	4.05	2.83
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・ごみ処理広域化（平塚市・大磯町） ・共同消防指令センター（平塚市・大磯町） ・消費者生活センター（平塚市・大磯町） ・公共施設の相互利用（平塚市・秦野市・伊勢原市・小田原市・大磯町・中井町）
	課題	・直近で新たな広域連携事業が見出せていないため、引き続き近隣自治体の動向や社会情勢も見定めながら、スケールメリットを生み出せる事業の研究を続ける。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

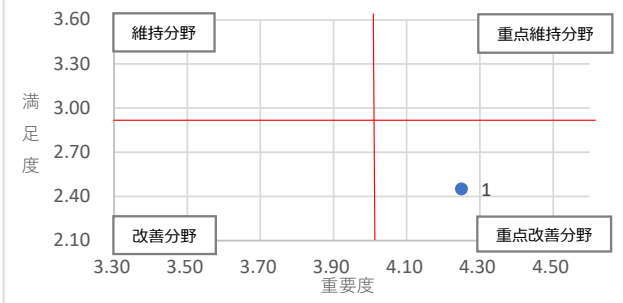
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	産学連携				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民、事業者、学校	目的	企業や大学等の専門性や枠組みに囚われることのない柔軟な発想を生かした効果的・効率的なまちづくりを進める。				
事業概要	大学との連携事業を推進するとともに、新たな連携の可能性を検討する。						

事業予算							
会計		款項目				大事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	0	0				
	概算人件費	395	387				
	トータルコスト	395	387	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.08 人		395 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			395 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	連携事業数（広域連携・産官学連携）【行革】	計画値	2	3	4	5	6
		実績値	2				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・神奈川大学において、町の課題をテーマにした町職員による出前授業を実施したほか、公務員を目指す学生等を対象に行政の取り組みを紹介した。 ・協定を締結している郵便局と協議を実施し、相互で連携可能な取り組みを検討した。
	課題	・事業連携が業務の効率化等につながるよう、連携事業の整理とともに連携の在り方を検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持